



Ray Klingensmith

レイ・クリンギンスミス
2010-11年度 国際ロータリー会長



No.38

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

ロータリーの優しさと思いやりを地域へ

- ①高砂ロータリークラブの歴史と伝統を学ぼう
- ②職業奉仕と親睦の実践
- ③友愛奉仕基金の主旨を再確認
- ④ロータリー活動を広報し、地域に広めよう

例会記録 (2011. 4. 15 (金)) 通算2,846回

◆開 会

◆唱 歌

ロータリーソング (我等の生業)

◆「四つのテスト」唱和

◆ゲスト紹介

卓話者 特定非営利活動法人 ネパール・ヨードを支える会
理事長 ^{あつたちかよし} 熱田親憲様

◆プログラム予定

4月22日 (金)	4月29日 (金)	5月6日 (金)	5月13日 (金)
高砂青松R.Cとの 合同献血例会 於)サンモール高砂南駐車場	休 会	休 会	卓話 部下との対話が「やり抜く力」 を向上させる 清水 泰史様

◆出席報告

本日 4月15日 会員数47名 出席者 31名 出席率 72.09%
前々回 4月 1日 会員数47名 修正出席者43名 出席率100.00%

◆MAKE-UP

片嶋 純雄会員 e-CLUB 4月 9日
大久保義郎会員 e-CLUB 4月 9日
小林 尚人会員 e-CLUB 4月15日
伊藤 輝彦会員 e-CLUB 4月15日
砂川 次善会員 e-CLUB 4月22日
田中 泰生会員 e-CLUB 4月 9日

◆委員会報告

◎親睦活動委員会

チャリティ家族例会ありがとうございました。

6月12日(日) 高砂青松R.C・高砂R.C合同ゴルフコンペのご案内

◎社会奉仕委員会

4月22日(金) 高砂青松R.Cとの合同献血例会

献血にご協力をお願いします。(400ml 献血のみの受付ですのでご注意願います。)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

内垣 吉史様(アートサロン内垣)……例会の貴重なお時間を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

山本 広志会員……兵庫県議会議員の選挙では色々とお世話になり、誠に有難うございました。

早退1名

◆幹事報告 (2,846回)

◎ガバナー事務所より東日本大震災義援金100万円の振込みに対するお礼および3月31日第1回締切時における義援金額についての報告が届いております。

義援金協力クラブ数: 35クラブ 総額: 16,141,564円⇒ガバナー会へ送金

◎ガバナー会に3月31日までに集まった義援金より、見舞金として4月1日に次のとおり各地区ガバナー宛に送金しております。

RI2520地区(岩手・宮城) 5,000万円 RI2530地区(福島) 3,000万円

RI2820地区(茨城) 1,000万円 RI2550地区(栃木) 500万円

R I 2 7 9 0 地区 (千葉) 5 0 0 万円 合計 1 億円

◎本年度各委員会委員長宛に事業報告用紙を配布しております。提出期限: 5月13日(金)

◎神戸女子大学ローターアクトクラブ「指導者育成セミナー」のご案内が届いております。

テーマ: 「生物多様性とエコ活動 ―自然との共生を考える―」

日時: 4月24日(日) 13:30~ 場所: 神戸市立須磨離宮公園・神戸女子大学

◎三田R.Cより50周年記念式典・懇親会延期のお知らせが届いております。

◎高砂市国際交流協会より、「国際交流通信4月号」と会費納入案内が届いております。

◎東播磨青少年本部より、「東播磨青少年本部だより第53号」が届いております。

◎関西電力(株)より文書「東北太平洋沖地震にかかる関西電力の対応について」とともに広報誌「わっと春号」が届いております。

◎米山記念奨学会より「ハイライトよねやま133号」が届いております。

※例会変更のお知らせ

◎高砂青松R.C 5月4日(水) 休会

5月11日(水) 12:30~ 健康診断例会

於: ふれあいの郷生石研修センター1F

◎加古川R.C 5月3日(火) 休会

◎加古川中央R.C 4月28日(木) 休会

5月5日(木) 休会

◎姫路南R.C 5月2日(月) 休会

◎明石R.C 4月27日(水) 休会

6月1日(水) 18:00~ 親睦夜間例会

於: イグレックベガ元町

◆会長の時間

病院の待合室で、カー雑誌を読んでいると松任谷正隆さんのコラムが載っていました。タクシーの乗務員に関する内容なので大変、興味深く読みました。

内容は、カーマニアの松任谷さんですが、最近疲れたときとか、色々考え事をする時によくタクシーを利用するそうです。仕事先の事務所へは自宅から3、40分ほど時間がかかる距離ですが、

車内の中で体を休めたり、色々想いを張り巡らしたりするそうです。よって、よくしゃべりかけてくる運転手さんは苦手でほとんど決まった運転手をお願いをしているそうです。

ある日、いつもの運転手さんに迎えに来てもらって、乗車したところきつい体臭が室内でしたので運転手さんに告げたら、運転手さんが話した内容が「先ほど、お客様が乗車さ



信原智彦会長

れました。30分ほどの距離ですが、そのお客様から話しかけてこられて、自分の家族の事や、自分の生き立ちの事、色々話されました。そして最後に、自分のがんに侵され余命がないということも話されました。ただ、私は聞くことしかできないのでその都度、相槌打ちながら聞いていました。そして最後に、そのお客様は「ありがとう。」と笑顔で降りられました。」松任谷さんはその話を聞いてこう思ったそうです。初対面の人にまた短い時間に、自分の人生そして想いを打ち明けさせる、タクシーの乗務員とその空間、大変不思議な世界だと感じたそうです。

私はこの文章を読んで絶えず乗務員に話をしています。「私たちは、人を送っているのだけではなく、人の思いも送っていると、そこには喜怒哀楽があって人生があると、それを受け止めてお送りしましょう。」と、私たちは本当に素晴らしい仕事をしていると心からそう思います。

◆本日のプログラム

卓話「ネパールの風土病；ヨード欠乏症と戦うNPO」

講師 特定非営利活動法人 ネパール・ヨードを支える会 理事長 あつたちかよし 熱田親憲様

1. 自己紹介

現在3つの顔を持って活動しています。大学では、ボランティアと環境問題を教える非常勤講師、ネパールを中心にボランティア活動をしているNPO理事長、ボランティア資金捻出のため、恥をかきながら絵を描く水彩画家の3分野です。底辺ではボランティアで繋がっています。

2. ボランティアのキッカケ

栄養管理士の長女がネパールの栄養・生活改善のためネパールに駐在。これを助けるネパール青年と結ばれて結婚。その長女がヨード不足による甲状腺障害であることが分り、甲状腺へのホルモン治療のため日本に帰国。3年の治療の結果、自力で甲状腺ホルモンが分泌されて完治。思わぬ早期完治に感謝し、同じ苦しみをもつネパール人のために国際支援することを決意しました。

3. 甲状腺障害のヨード欠乏症とは

人間の発達と成長を司る甲状腺ホルモンの分泌は、微栄養素のヨー素（通称；ヨード）の摂取で円滑化される。そのヨー素が不足すると、頸部に瘤のような腫れが出来る甲状腺腫と嚥嚥、歩行困難などの生活機能障害とポリオ的障害のクレチン症に大別されます。

4. ボランティア活動内容

プロジェクトを組んで10年になりますが、前半の5年は、甲状腺腫になった患者に対するヨー



ド補給を行ってきたが、幼児のみ自力で起立等の改善は見られたが、大人は殆ど改善の兆しなし。そこで、予防を目的にヨ一素補給することとし、出産前に妊婦へヨ一素補給を十分行うことで、ヨ一ド欠乏のない新生児を生んでもらおうというプロジェクトに切り替えた。この5年間でその基礎ができたので、2011年度より妊婦対象の本格的なヨ一素補給プロジェクトが展開される予定です。ヨ一素補給にあたり、昆布より抽出されたミネラルカプセルを提供いただいているのが、神戸に本社のある食品メーカー；フジッコ(株)です。もう10年になり感謝しています。

5. 学んでいること

- ①ヒマラヤ山脈の中腹の高いところを耕し、山の背に持たれるように住む農家をみると、このような貧しさに耐えて住まわれている人々が居るからこそ、日本人は豊かに、快く住むことが出来るのだと、感謝の念を強くしている。
- ②世界に7億人のヨ一ド欠乏症患者がおり、リスク人口は15億人とも言われている。昆布などヨ一素の豊富な日本は、その撲滅に尽力されているユニセフに、もっともっと支援すべきだと思っています。(以上)

1. プロジェクトの説明会に集まった妊婦さん。ヨ一ド欠乏症の認知を広めることも重要です。
2. 昆布ミネラルカプセル摂取の妊婦さんから生まれた元気な赤ちゃん。
3. 妊婦さんプロジェクトから生まれた赤ちゃんを診察。

ヨ一ド欠乏症をなくして ネパールの未来に光を

4. 昆布ミネラルカプセルを飲み続け、臍くべき回復を見せてくれたチョウタラ村のスリージョン君と理事長。
5. ネパールの保健婦さん、インストラクター、看護婦さん。
6. ヨ一ド摂取のお母さんから生まれた赤ちゃんは、身長・体重・産声、お乳を吸う勢いなどに違いが。元気に育っています。

ヨ一ド欠乏症の根絶を目指して

NPO法人「ネパール・ヨ一ドを支える会」(SENID)は、ネパール・ヒマラヤ山麓の農村の人々を悩ませるヨ一ド欠乏症の根絶を、完全に継続できるようにすることを目指しています。罹患した幼児が生活機能を改善できるよう、また、妊娠しているお母さんがヨ一ド欠乏のない(予防された)状態の赤ちゃんが産出できるよう、ヨ一ドの補給を行うプロジェクトを柱として貢献。ネパール政府の国家政策を補完する地域医療の位置づけとして、活動を行っています。

ネパールの明るい未来のために

私たちが目指すのは、ヨ一ド欠乏症の根絶だけではありません。この病気の根絶により、健康な身体を持った生産人口が増えると、彼らの住む農村の開発が期待できます。健康な人びとの力が、ネパールが最貧国から脱却するための国家としての原動力となる、そんな日を夢見て、私たちは取り組みを進めています。

私たちの取り組み

- 国立チョウタラ病院での妊婦さんプロジェクト
ヨ一ド欠乏のない元気な赤ちゃんを出産できるよう、妊婦さんにヨ一ド補給。現地の保健婦さんやインストラクターさん、看護婦さんと一緒に、定期検診や病院での出産の普及に努めています。
- フジッコ株式会社の昆布ミネラルカプセル
ヨ一ド補給には、フジッコ株式会社(神戸市)が開発・無償提供する「昆布ミネラルカプセル」を使用。ヨ一ドはもちろん、昆布に含まれるミネラルなどの健康機能成分をそのまま摂取できます。
- 日本国内での普及活動
ヨ一ド欠乏症を広く知っていただくため、講演会、チャリティコンサート、絵画展などでネパールの現状を伝えるパネル展示などを行っています。

NPO法人設立までのあゆみ

1999年	ヨ一ド欠乏症国家対策に関するネパール政府関係聞き取り調査
2000年	ヨ一ド添加塩のネパール店頭調査(小売業と消費者)
2001年	ヒマラヤ山村の甲状腺腫患者への面接調査 関西学院大学大学院総合政策研究科で修士論文、ディスカッションペーパーでネパール政府・ユニセフ・ICCIDなどに報告
2002年	甲状腺腫患者へヨ一ド補給する第1次IDDプロジェクトスタート
2003年	「アアアの癌ネパールの癌」(春風社)を出版
2006年	第1次IDDプロジェクト終了
2007年	妊婦へヨ一ド補給する第2次IDDプロジェクトスタート 妊婦へのヨ一ド補給とその周産期効果測定
2008年	第2次IDDプロジェクトでヨ一ド補給した母から生まれた赤ちゃんの発育効果測定調査 特定非営利活動法人「ネパール・ヨ一ドを支える会」の認証を受け、9月1日より法人として正式発足

会長 信原 智彦

幹事 脇谷 政孝

雑誌会報委員長 大久保義郎

例会日時 毎週金曜日12時30分より

例会場 高砂商工会議所 2階会議室

高砂ロータリークラブのホームページのURL

http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/